

多文化共生社会を支えるために

～「知る」ことから未来につなげよう～

多文化共生社会を実現するためには、異なる文化をもった者同士の歩み寄りが必要です。今回の講演会では、私たちひとりひとりがどのような一歩を踏み出せるのか、皆さんと考えていきます。

日時

令和3年 **12月11日** (土)

13:30～16:30 (入室開始 **13:20～**)

開催方法

Zoom ミーティング

視聴無料

定員/60名 定員になり次第締め切らせていただきます。
(対象:一般の方、学生)

『多様な学びの場を地域で支える

～夜間中学、定時制、大学～』

田巻松雄 先生 (宇都宮大学国際学部 教授)

第1部
13:30～
講演

宇都宮大学国際学部教授。国際学部附属多文化公共圏センターが運営する HANDS (外国人児童生徒の教育支援事業) 代表。社会学博士。主な研究テーマは、日本におけるホームレス問題、東アジアにおける国際的な人の移動、外国人児童生徒の教育問題。主な著書に、『未来を拓くあなたへ「共に生きる」社会を考えるための10章』(下野新聞社、2017年)、『ある外国人の日本での20年—外国人児童生徒から「不法滞在者」へ』(下野新聞社、2019年)等。2021年3月に「とちぎに夜間中学をつくり育てる会」(代表)を発足させ、8月に義務教育を十分に受けることが出来た人や日本語が不自由な外国人が学ぶことが出来る自主夜間中学を栃木県宇都宮市と小山市に開校した。

第2部
15:20～
発表

鈴木 絵莉さん (株式会社愛知福祉サービスセンター 放課後等デイサービス)

武藤 理奈さん (豊川市立国府小学校)

星野 義喜さん (株式会社NTT データ 第二事業部)

伊庭 太一郎さん (愛知教育大学 学校教員養成課程 義務教育専攻 教科指導系 社会専修)

愛知教育大学外国人児童生徒支援リソースルームでは、近隣市の小中学校に在籍している外国人児童生徒の支援のために学生ボランティアを派遣しています。

リソースルームの活動に参加することで、外国人児童生徒について「知る」という一歩を踏み出した経験が、社会に出て自分の中でどのような意識や行動につながっているのか、発表してもらいます。

お申し込み方法は裏面をご覧ください。